

～不労所得テキスト～

**1万円を100万円に
変える仮想通貨投資法**

上杉りゅう

著作権について

「不労所得テキスト」は（以下 本書と記載）著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に際しては以下のようにご注意ください。

本書の著作権は 株式会社ライズ【カブシキガイシャライズ】 に属します（以下 乙と記載）

乙の書面による許可なく、本書の一部、または全てをあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダー、電子ファイル）により複製、流用、転載、改変、及び転売を固く禁じます。

万が一、購入者が上記の規約を破った場合、**その違約金として、株式会社ライズに対し、違反件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額を支払うものとします。違反件数の特定が困難なWebページでの公開の場合は違反件数を1万件に設定いたします。**また、本書を複製、流用、転載、改変、及び転売をしている者を見つけた場合、**すぐに乙に報告下さい。**

乙に支払われた賠償金の半額を報告者には報奨金としてお渡しします。

使用許諾約款

本約款は、「不労所得テキスト」を利用するにあたり、以下の条項を遵守していただくための約款となります。

当該約款を必ずお読みいただき、遵守いただけない場合は、発見次第、いかなる理由があろうと当方の顧問弁護士を通じ、**違反件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額に相当する損害賠償**を請求させていただきますのであらかじめご了承ください。

第1条＜本約款の目的＞

発行者が著作権を有する本書に含まれる情報を、本約款に基づき購入者がその範囲内において使用する権利を承諾するものです。

第2条＜禁止事項＞

本書に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。購入者は本書から得た情報を発行者の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。

特に本書を第三者に渡す事は固く禁止します。

購入者は自らが使用するためのみに本書に書かれている事を使用できるものとします。

第3条＜契約の解除＞

購入者が本契約に違反したと発行者が判断した場合、発行者はいかなる通告も無く、使用許諾契約書を解除できるものとします。

第4条＜損害賠償＞

前2条の違反行為によって発行者に損害が生じた場合、購入者は当該損害について賠償の責を負うものとします。但し、購入者の責に帰すべき事由に限ります。

第5条＜責任の範囲＞

本書の情報の使用の一切の責任は購入者にあり、この情報を使って損害が生じたとしても、発行者は一切の責任を負いません。

＊投資の世界は毎日変わります。リスクも伴うので、ぜひ“失ってもかまわない余剰資金”で、「勝てる投資の感覚」を身につけていってください

さて、このテキストでは、

< 1 万円を 1 0 0 万円に変える仮想通貨投資法 >

ということについて
お話していこうと思います

さて、昨日お知らせした
仮想通貨の預金口座はもう登録出来たでしょうか？

昨日口座登録をした人で、
すでに 3 万円の利益が出た人もいますので、
ぜひ試してみてください↓

<https://coincheck.com/?c=8i3z3MDCVEw>

仮想通貨は、言ってしまうと、
「その辺の小学生でもお年玉で
月 1 5 万円は稼げてしまう」
ので、

【仮想通貨をやってないことが一番のリスク】

とわれています

理由は、単純で、

【早く買えば、その価格よりほぼ確実に高い価格で売れるから】
です

「世の中そんな美味しい話があるか」

と思った人もいるかもしれないので、その証拠を見せます↓

まずは、世界初の仮想通貨であり、ビックカメラの決済や飲食店でも

すでに活用され始めた元祖仮想通貨「ビットコイン」



次は、三菱東京 UFJ 銀行など、大手の銀行間取引に採用され、

2ヶ月の短期で爆発的な値上がりを見せた仮想通貨「リップル」 ↓



さらに、長い間ずっと時価総額2位をキープし続け、「スマートコントラクト」という画期的な契約同時締結型決済システムを持ち、ホリエモンが3.5倍もの値上がり益を

出したことでも有名な仮想通貨「イーサリアム」



前ページまでの3つの画像は、

「直近1年間でそれぞれの 仮想通貨の値段がどれくらい変化したか？」

を示すチャートグラフです

画像の通り、去年の5月頃（チャートで一番左のところ）では低価格だった仮想通貨が、1年間で、5倍（ビットコインの場合）、10倍（イーサリアムの場合）、100倍（リップルの場合）になっていることがわかると思います

これは、つまり、

【2016年5月の時点で1万円ずつ各通貨を買っていたら、それぞれ、5万円、10万円、100万円の価格で、売却出来たことを意味する】
わけです

したがって、例えば、値上がり幅の大きかったリップルだったら、

「2016年5月に値上がりの情報を仕入れて、
1万円だけでも買っておけば、放置するだけで今100万円もらえた」
ということになります（事実、今年はそういう主婦や学生がたくさんいました）

実際、オレの場合、2017年の1月に1万円分ビットコインを買ったことがきっかけで、その将来性にハマってしまい、その2ヶ月後の3月に



・・・という結果になり、

「今売れば521万8632円は、かなり大きな利益だが、もっと儲かるのでは？」

と考え、さらに値上がりを待ち、現在は、



・・・という1553万5614円の利益になりました。

上記2つの画像を見るだけでも、

【2017年の3月～5月の2ヶ月間で1032万円の利益が出たこと】
がわかると思います

しかも、さらに値上がりの気配があるため、このまま資産を保持して、

「2000万円、5000万円、1億円になったら良いな」
と考えています

利益を現金化したい時も、購入も売却も、メルマガで紹介した

～コインチェック～

<https://coincheck.com/?c=8i3z3MDCVEw>

・・・というアプリで、スマホや PC から数秒で可能なため、

「値上がりした」→「現金化したければ、すぐに売却」

という流れで、銀行口座に現金を振り込むことが出来ました

もちろん、多くの人が心配する

＜値下がりリスク＞

もありますが、その値下がり幅は、値上がり幅と比較して大したことがなく、

【一時的に値下がりしても、

ただ買って持っていれば、勝手にまた値上がりしてくる】

ということが画像から見て取れますし、ハッキングがあった場合も、

過去のそういったトラブルを見ていると、

「一時的に騒ぎにはなるけど、結局、値上がりして戻るし、

救済措置でハッキングされた分の仮想通貨は戻ってくる」

とわかっているのです、今は、楽観視している状態です

仮想通貨はまだまだ一般的な認知が低く、

「ビットコイン以外の仮想通貨って何？」

というレベルの人がほとんどなので、将来、

【そういった一般層の人すら

仮想通貨が便利過ぎて買わざるを得ない時代】

が来ると、どこまで値上がり益が出るか想像もつきませんが、ある程度までは、

「市場に値上がりの気配がある」

と予想することは出来ます

実際、どの仮想通貨の価格も、過去に、

- ・リップルが大手銀行の送金システムに採用が決定した時
- ・ビットコインがビックカメラで試験利用が初まった時
- ・イーサリアムのETF上場の情報が広まった時
- ・・・などは敏感に値上がりし、逆に、
- ・ハッキング騒ぎ
- ・取引所のシステムトラブル
- ・・・などがあった時は一時的に値下がりしてきました

つまり、

【最新情報さえ仕入れておけば、

ある程度買いと売りのタイミングが予想出来る】

ということなので、

- ・ツイッターで「仮想通貨」、「ビットコイン」、「リップル」などと検索して、情報通の人をフォローして定期チェックする
- ・仮想通貨の最新ニュースを頻繁に更新しているブログを購読する
- ・コインチェックのチャット版で情報収集する
- ・・・などを毎日数分でもやっていくと、勝てる相場感覚が身についていきます

仮想通貨には、値上がり確実な有望通貨以外にも、

- ・ろくに利益を上げられてない素人投資家のウソコメント
- ・詐欺目的の通貨
- ・セキュリティの甘い取引所
- ・計画倒産狙いの企業が主催しているハイプ（高利回り投資案件）

などの「罠」があり、それらに巻き込まれないような

【値上がりに関連する情報を見抜く目】

を鍛えていくことが大切なわけです

逆に、それさえ身につけば、
＜どんな仮想通貨を買っても利益が出る＞
ので、ぜひ色々自分でも調べながら好みの通貨を買ってみて下さい

最初からリスク無く稼げるビジネスや投資はありませんが、

**【100円や1000円など、失っても良い少額の
元本から始めて、巨大な利益を稼ぐことは可能】**

なので、本当に魅力的な“人生を変える投資”になります

上杉りゅう

＊投資の世界は毎日変わります。リスクも伴うので、ぜひ“失ってもかまわない余剰資金”で、「勝てる投資の感覚」を身につけていってください